

## <<< 電源 >>>

消費電流: 107 mA

この製品は9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用できます。デジチーチェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。また故障の原因になりますので9Vを超える電源は使用しないでください!

## <<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: 500 kOhm

出力インピーダンス: <1 kOhm

本体サイズ: 12.065cm x 14.351cm x 5.715cm

## <<< 付属品 >>>

取扱説明書x1

保証書x1

安全上のご注意x1

### 製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL:0570-056-808 (ナビダイヤル) または053-533-5003  
URL: <https://jp.yamaha.com/support/>  
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

### 修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL:0570-012-808 (ナビダイヤル) または053-460-4830

### 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL:03-5488-5445



[www.earthquakerdevices.jp](http://www.earthquakerdevices.jp)  
©2020 EarthQuaker Devices LLC

# Disaster Transport SR™



説明書

このたびはアースクエイカーデバイスズのデザスタートランスポートSR、モジュレーションディレイ&リバーブを購入して頂きありがとうございます！ご使用の際はこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応できると思っていますので是非お読みください。

デザスタートランスポートSRは2チャンネルのディレイにリバーブとモジュレーションを搭載しており、テープエコーの様なローファイなエコーを再現できる様に開発されました。ノブが多いので設定が難しく見えますが、説明書を読み終える頃には簡単にお好みの設定で使用できると思います。

上段のコントロールがDelay Aで下段がDelay Bになります。Delay Aは600msまでのディレイタイムとモジュレーション、Delay Bが300msのディレイタイムとリバーブです。Delay AとDelay Bは単体、もしくは直列、並列で使用できます。外部エクスペッションペダルの使用時にはDelay AのRepeatsの調整や、直列で使用時にDelay Aの信号をBleedを経由してDelay Bに送る分量などをリアルタイムで調整できます。さらにトゥルーバイパスかディレイの残響音をスイッチをオフにした後に残すかの選択も可能です。

通常のディレイやリバーブとしての使用以外にも、搭載されているモジュレーションを利用してローファイなテープエコー、フランジャーやコーラス、ゆがみの有るレコードの様な音を出す事も可能で、テープエコー、ローファイ機材等の音を欲しい方には気に入って頂ける事でしょう！

### エクスペッション入力

当社ではMoog社製、EP-3を推奨しております。EP-3をご使用の際はアウトプットの調整ノブを最大にしてご使用ください。

### ディレイの設定

2チャンネルのディレイで分かれており、上段がDelay A、下段がDelay Bです。

#### コントロール Delay A

**Time:** ディレイタイムの設定。30msから600msまで設定できます。

**Repeats:** ディレイの反響の回数設定。反響の回数1回から無限に発振させるまで設定できます。こちらは外部エクスペッションペダル使用時にリアルタイムで操作可能です。

**Mix:** エフェクト音の設定。12時方向で通常の出力で、右に回す事によってエフェクト音がブーストされます。なおこちらはエフェクト音のゲインとなりますのでエフェクト音ブースト時には若干のノイズが乗る事が有ります。

**Depth:** モジュレーションの強さを設定します。モジュレーションは左に回しきった所でゼロになり右に回すごとに深くなっていきます。

**Rate:** モジュレーションの動きの速さの設定。Delay AのLEDの点滅の速さでモジュレーションの速度が目視できます。

**Bleed:** Delay Aの信号をDelay B（以下のダイアグラムを参考にしてください）に送る事が可能です。これで、直列/並列で使用される場合にリズム的なディレイ、AとBを同時に使用する事によってディレイをさらに長くしたり深くする事が可能です。左に回しきった状態でBleedはゼロになります。さらに、外部エクスペッションペダルを使用してDelay Bに送るディレイの量をリアルタイムで操作可能です。Bleed機能を使用の場合はDelay AとDelay BのRepeatsの設定の組み合わせを色々試してみてください。様々な質感のディレイを得る事ができます。

#### コントロール Delay B

**Reverb:** リバーブの量の設定。なお、リバーブはDelay Bの信号の入力段に入っています。

**Mix:** エフェクト音の設定。12時方向で通常の出力で、右に回す事によってエフェクト音がブーストされます。なおこちらはエフェクト音のゲインとなりますのでエフェクト音ブースト時には若干のノイズが乗る事が有ります。

**Repeats:** ディレイの反響の回数設定。反響の回数1回から無限に発振させるまで設定できます。こちらは外部エクスペッションペダルではコントロールできません。

**Time:** ディレイタイムの設定。30msから300msまで設定できます。

### ディレイチャンネルの選択

中央のBypassスイッチがオンの場合はDelay AとDelay Bを個別にオフした時に残響音が残る仕組みになっております。ですので、オフにした際の残響音を希望の場合は中央のBypassスイッチは常にオンにしてください。逆にBypassスイッチをマスタースイッチとして使用する事も可能です。その際はBypassスイッチはトゥルーバイパスですので、スイッチオフ時には残響音は出力されません。

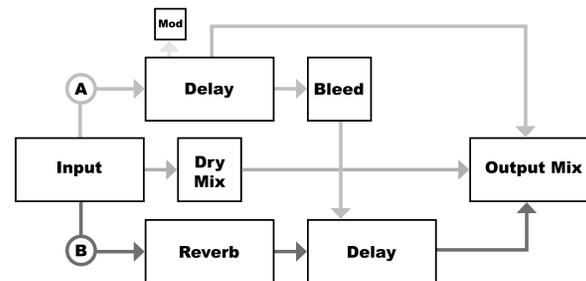
Delay AとDelay B同時使用の際のリズム的なディレイを試したい場合は、Delay Bのスイッチをオンにしなくても、Bleedを利用してDelay AからDelay Bへ信号を送る事が可能です。

### 入出力とスイッチ

- A 出力ジャック
- B 9V電源入力
- C Delay AのRepeat用エクスペッションペダル入力
- D Bleed用エクスペッションペダル入力
- E 入力ジャック
- F Delay Aスイッチ
- G マスターバイパススイッチ
- H Delay Bスイッチ



### 信号回路の説明



Delay AとDelay Bのエフェクト音の量の設定はMixで行います。原音は常に入力されたそのままの信号が出力されております。BleedはDelay Aの信号をどれだけDelay Bのディレイ部に送るかを設定してます（こちらはDelay Bのリバーブの後段に入りますのでリバーブには影響しません）。なお、Delay AのBleedはゼロに設定した以外は常にDelay Aの信号はDelay Bに送られていますので、Delay Bのスイッチがオフでも最終的な出力はDelay Bの設定を通過した音になります。

**直列での使用:** Delay AとBをご希望の設定にし、Delay Aをオン、Delay Bをオフにしてください。そしてBleedでDelay Bに送る信号を調整してください。

**並列での使用:** Delay AとBをご希望の設定にし、Delay AとBのスイッチを両方オンにしてください。この際は、Bleedの設定はゼロにしてください。

**直列/並列での使用:** Delay AとBをご希望の設定にし、Delay AとBのスイッチを両方オンにしてください。そしてBleedをゼロ以外のご希望の設定にしてください。

**Delay Aのみの使用:** Delay Aをご希望の設定にしスイッチをオン、Bleedをゼロ、Delay Bのスイッチをオフにしてください。

**Delay Bのみの使用:** Delay Bをご希望の設定にしスイッチをオン、Bleedをゼロ、Delay Aのスイッチをオフにしてください。